

「待機児童問題と保育政策の今後」の理解を深めるための4つの論点

◆論点1：自己紹介(10分)

今回のテーマに興味をもった理由と、「待機児童」「保育政策」に対する見解を自由に話し合ってください。

- ・ 自己紹介
- ・ 自身の保育に関わった経験
- ・ 「保育政策」に対する問題意識 など

<著者の主張について>

著者は、子どもを社会が育てるには、以下3つの「鍵」があると述べています。

この3つの鍵について、論点に従い話し合ってください。

- ① 子どもを育てる親を社会全体で支えること
- ② 子どもが思いっきり遊べること
- ③ 保育者への応援

◆論点2：「親を支える」について（15分）

著者は、「子育ては自己責任」などと親を孤立させずに、社会全体で親を支える必要があると主張しています。子育てをする親を、社会・コミュニティでサポートするための制度・サービスはどのようなものがあると思いますか。事例、またはアイデアについて話し合ってください。

◆論点3：子どもが遊べる社会（15分）

著者は、「乳幼児期の保育の場でこそ、おもいっきり遊ぶ経験が保証されるべき」と主張しています。ご自身の経験や社会環境の変化（例、SNS やデジタル機器の普及 etc）等を踏まえつつ、この意見に賛成か反対かについて議論してください。

◆論点4：政策立案（25分）

「保育者を応援する施策」について

保育者を支援する制度・政策についてグループで話し合い、グループごとにアイデアを発表してください。

（※財政的な視点は考慮しなくてもOKです。）